

国際都市を 目指して

The road to becoming an international city

海外からの
来訪者との交流

「ホームステイ」 「ホームビジット」

🏠 素敵な経験を
してみませんか？

ホストファミリーの登録
者を募集しています

詳細 市民自治推進課
☎ 32-6157

苫小牧市国際交流サロンぐる
〜りワールド・フェイスブッ
クページを開設しています

「足元からの国際交流」

「国際都市」と聞くと、多くの外国人が往来し、「誰でも英語が話すことができて…」と思いがちですが、何も、市民の誰もが英語を話せるようになることや外国人の数が多いいことだけを指して「国際都市」ということではありません。自分とは異なる文化に触れ、交流し、お互いを理解することで、市民はもちろん外国の方にとっても住み良いまちをつくるのが大切です。市では、居ながらにしてできる国際交流「足元からの国際交流」をキーワードとして、来訪した外国人との交流を通じて異文化に触れて国際理解を深めていきたいと考えています。

好評な苫小牧市民のおもてなし

今年度、苫小牧には海外の政府機関や学生の研修、交流事業によってたくさんの方々が訪れました。来訪者が多い理由としては、交通の利便性、札幌に近いという地域性、港湾・工業都市としての技術力、アイヌ民族の文化施設が近郊にあるなど、視察、研修に

ホストファミリーのおすすめ条件

- ❶ 2人以上の家庭
- ❷ 送迎が可能
- ❸ 受け入れの際に部屋を用意できる
- ❹ 子ども（学生）が居る



外国語を上手に話すことができなくても大丈夫！

ホームステイ・ビジットに122人の方がやってきました（24年）

フィリピン	23人	韓国	36人
ロシア	56人	中国	3人
インド	4人		



フィリピンからの研修生と「ホストファミリー」のみなさん

ホームステイ・ホームビジットで素敵な経験をしませんか？

一般市民同士の交流を活発にするこ
とで、互いの理解・信頼関係を積み上
げていくことが、国際社会において良
好な関係を生み出していくことに繋が
るのではないのでしょうか。
市では、国際社会に参加する一歩と

適していて非常に魅力的である点が挙
げられます。また、外国人が来訪する
際に関わる国際団体からも、苫小牧市
民の受け入れが非常に温かいと評判を
受けていることも理由の一つです。

して、外国の方を温かくおもてなしす
る「ホストファミリー」に事前に登録
をしていただき、海外からの来訪者が
ホームステイを希望した際に、案内を
しています。ホームステイというこ
、留学生が数カ月から1年くらい滞在す
ることを思い浮かべる方も多いと思
いますが、市が案内するのは、1、2泊
の宿泊のホームステイか、宿泊を伴わ
ず食事などを通じて日本の家庭を経験
してもらおうホームビジットです。

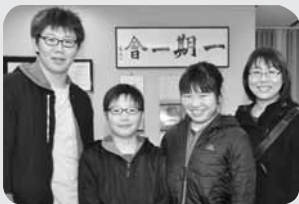
外国人が家に来るからといって、特
別なことをする必要はありません。寝
食をともし、家庭での普段の生活に
触れて友情を育みながら過ごす時間
は、来る方にも、受け入れられる私たちにとっ
ても海外旅行などで得られる経験とは
一味違った思い出になります。異文化
に触れることで、日本の文化に誇りを
持ち自分の生活を大切にするきっかけ
にもなることでしょうか。あなたも「国
際交流」を経験をしてみませんか？

子どもたちにも貴重な経験を

学生時代に海外へホームステイをし
ていた吉田千津さんは自身の経験から
「異国文化に触れたり子どもが居るこ
ろから外国の方と接することは良いこと」
とホストファミリーとして外国人の受
け入れをしています。

家族の中で、特別に外国語を流暢に
話せる人がいるわけではありませんが
「大したことは話さなくても、子ども
たちが漫画やゲームなどで楽しむ中
で、自然と打ち解けるようになります」と
話すように、小学生・高校生のお子
さんたちにとっても、ジェスチャーによ
るコミュニケーションで意思疎通がで
きる楽しさを感じているようです。

食生活、趣味、娯楽、仕事のことな
ど、ホームステイで日本の日常生活を
体験することで、お互いに新たな発見
もあり貴重な体験となるそうです。長
男の伶くんは、テレビで見聞きする外
国のイメージとは別に「外国の方の温
かさを知ることができると貴重な
経験を体感しているようです。」



吉田さんファミリー
(元中野町在住)

これまでに韓国、フィリピン、ロシアの方の受け入れを経験。右から吉田千津（ちづ）さん、早良（さら）さん、伶（れい）くん、伶（れい）くん